

## 歴史&ハイキング愛好会第35回例会開催報告

当番世話人 川股賢三

今回の企画は日産自動車座間工場(ダットサンから現在の車まで200車両を展示)見学と歴史サークルの第一回探索地の関宿城博物館・鈴木貫太郎記念館見学の二つを立案し、六角さんに相談したところ関宿を希望され、関宿に目的地を定めました。

(現会員で遠藤さん、住田さん、私の3人は歴史サークルで探索済)

前回訪問できなかった鈴木貫太郎記念館を世話人としては期待を持って下調べをしますと昨年9月の台風で屋根が破損し、現在は休館中とのことでした。急遽、野田市のキッコーマン醤油工場見学に変更するも、ここも工場のライン変更工事で今年7月まで工場見学が休止とのことでした。

関宿城博物館への交通手段は東武野田線の川間駅から関宿城博物館行きが一番便利だが、一日に4往復しかなく、千葉の広域からの会員の参加ですからタイミングの良いバスが見当たらなかった。博物館へのアクセスを調べなおすと、東武動物公園からは1時間に2本程度、博物館近くを經由して境町行きバスがあり、これを活用することとした。

それにしても関宿散策では時間が余りますので、今まで訪ねたことのない東武博物館を加えて一日の行程とした。

1月22日(水)参加者9名で第35回例会を開催いたしました。9時45分に東武博物館前に集合し、スタートミーティング、開館したばかりの博物館に入館し、東武鉄道の歴史を体験した。



開館を待つ参加者



東武鉄道の最初の蒸気機関車 (英国製)



浅草・西新井間の電車



キャブオーバーバス

東武博物館の入場待ちの時に3人ほどの若者がいました。彼らも古い乗り物に興味があるのかな？と考えていましたが、展示を見て回ってみると電車運転シミュレーションを目的とした入場者でした。交代でシミュレーションを楽しんでおりました。



運転シミュレーションを楽しむ六角さん(平木さん提供)

もう一つ目についたのは幼児を連れた母親が何人かいました。話を聞くとお子様が模型鉄道の走行が気に入っていて半日は機嫌よく遊んでくれるとの話、200円の入場料で半日遊べればコスパーがよいのではと感じました。

11時に博物館を出て東向島駅へ向かう。宮武さんが障害者用切符の購入でモタツキましたが、予定の東向島駅(東京都)11時11分発の電車に乗り、北千住駅で急行に乗り換え、12時00分に東武動物公園駅(埼玉県)に到着、12時10分発の境車庫行の路線バスに乗り継ぎました。



東向島駅で北千住行き of 電車を待つ参加者

この路線バスは東武動物公園駅バス停始発で埼玉県内を江戸川方向へ向かい、県境の江戸川を越えて千葉県に入り、そのまま利根川に向かって千葉県内を運行し、利根川(千葉県と茨城県の県境)を渡って茨城県猿島郡境町の境車庫が終着です。路線バスは県境の手前が終着バス停で県境を徒歩で越えて隣の県の始発バス停で乗り継ぐのが普通ですから3県にまたがる路線バスは珍しいと思います。



このバスが3県を跨いで運行しているバス(平木さん提供)

#### 関宿新町バス停下車風景

東武動物公園駅バス停での乗客数は我々9名を含めて17名、8名の乗客はほとんどが埼玉県内で

下車しました。我々9人が下車した新町バス停では途中乗車の客が3人程？残ったかな！この路線は赤字ではないかと思われました。関宿新町で下車し我々は徒歩1kmで博物館に1時頃に到着しました。



関宿城博物館正面入口



博物館の全景(平木さん提供)

今回は千葉県最北西端にある関宿町(現在は野田市に吸収合併)の探索が主目的です。最東端の犬吠埼や最南端の野島崎灯台は会員の多く散策経験がありますが、関宿は訪ねた会員は少数です。

関宿へは交通の便が悪く、今回は千葉県から東京都に出て埼玉県経由で約2時間かけての到着でした。

遅い昼食は博物館の無料休憩所で山田さんの果物の差し入れがあり、美味しくいただきました。



昼食風景(平木さん提供)

昼食後に関宿城博物館へ移動。入館料金は65歳以上が無料で参加者全員がタダ。

博物館の1階に利根川の江戸初頭から明治に続く大規模河川改修の歴史や河川交通などの展示説明、2階は関宿藩や関宿に関する展示、3階は「昔の暮らし展」、4階が展望室で筑波山と関東平野と河川が一望できた。



4階展望室から南を望むと大木が二本見えます。そこが関宿城址です。今は石柱(下見の時に撮影)が一つだけ立っています。大半の敷地はスーパー堤防と変わっています。

事のついでに下見の写真を張り付けておきます。



城址から江戸川を少し下るとある関所跡の石碑



博物館前の高札案内板



鈴木貫太郎記念館



説明ボード

関宿城は博物館横の江戸川(逆川?)の下流500mにあり、戦国時代の終わる頃には上杉側の城でしたが北条氏との争いに敗れて北条方の城となった。北条氏が豊臣秀吉に敗れて、この戦いの功勞として駿河の徳川家に国替えを命じ、関東平野の大部分が徳川の知行地となった。

家康は江戸を本拠地に定めてその周辺を佐倉城・忍城・関宿城などで固めた。徳川家が支配した最初の関宿城主は家康の異母弟・松平康元に命じた。その後も徳川譜代大名がその任にあたった。

江戸の守りも重要であったが、江戸の人口を支える物資輸送は当時、水上運輸が中心であり、この意味でも関宿が重視されたと思われる。博物館の解説によると関宿城下の町人町は利根川を渡った境町であり、河岸を中心として栄えていたとのこと。

帰りは博物館始発川間行きバスに14時33分に乗車でき、スケジュール通りに川間駅で解散。参加者の協力でも事故もなく無事に例会を終了いたしました。

参加者氏名(敬称略・サークル会員名簿順)

小澤敏宣・川股賢三・木頃勝紀・白岩仙一・住田勝治・平木行雄・六角 学・山田昌之・宮武 亨の9名でした。

## 第35回 歴史&ハイキング愛好会例会

関宿博物館前で 令和2年1月22日(水)



後列左から：平木行雄・木頃勝紀・住田勝治・川股賢三・宮武 亨・小澤敏宣の6名  
前列左から：山田昌之・六角 学・白岩仙一の3名 参加者計9名(敬称略)



### 東武鉄道の最初の蒸気機関車(5号車)の前で

後列左から：川股賢三・小澤敏宣・木頃勝紀・宮武 亨・住田勝治の5名

前列左から：六角 学・白岩仙一・平木行雄・山田昌之の4名 参加者計9名(敬称略)

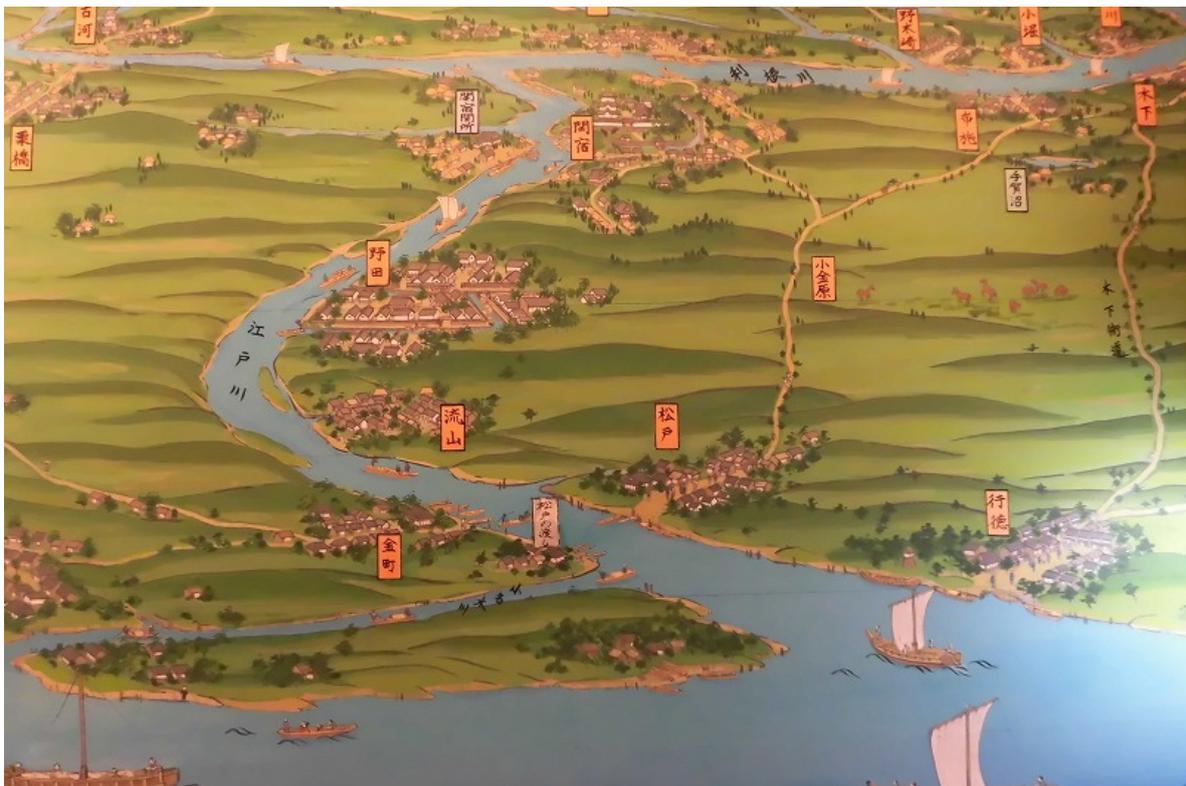
六角さんのスナップです。



江戸時代の河川改修工事風景



大型の高瀬舟



江戸時代の地図

以上